

ポストコロナ時代に

力強く歩みだすスタートへ

必要がある。」との判断を示している。

更なる支援策の拡充を求め、声が高まっている。

1,800人の減少で、出生数の低下、若年層の流出による人口減少が続いており、コロナ禍の影響で一部県内就職への流れや首都圏人口の地方への流出が見られるものの一過性に留まるとの見方もあり、情勢の好転への期待は見通せない。

都市機能の衰退などを招きつつあり、地域の活力を維持・復活させるためにも地域ぐるみの地方創生に向け官民挙げた取り組みが求められている。

当会議所の景況調査では、令和3年4月から6月期は、業況、売上げ、採算及び資金繰りとも改善傾向にあったが、7月から9月期は、デルタ株の蔓延拡大により急激な悪化となった。その後、10月から12月期はワクチン接種の一巡等により感染が落ち着いてきたことから回復基調に転じたが、年明けには新たなオミクロン株の感染拡大により再び厳しい業況が広がっている。こうしたウイルス感染の影響を如実に受けた景況の波が繰り返されていることから、地域経済に与えるダメージは深刻の度を増しており、会員事業所からは、事業の継続及び従業員の雇用の維持に向けて、国・県・市における広く目配せした

鶴岡・庄内地域においては、長期化するコロナ禍の影響により厳しい業況が続いているとともに、ここに来てロシアのウクライナ侵攻という事態などを受けた原油高や原材料価格の高騰、円安、人材確保など極めて困難な経営環境におかれている。こうした中で会員企業においては、コロナ融資など資金繰りに困窮する事業者が今後増加すると見込まれることから、こうした事業者が足元で必要となる支援に引き続き万全を期すよう行政に対し要望を強めているところである。

人口減少による影響は、人材の確保難という経営課題に留まらず、地域経済の縮小、

このたびのコロナ禍は、地域・社会の在り方や価値観に大きな変化をもたらしつつあり、先端科学、食文化・農林水産物、多くの観光資源等、地域に内在する資源を活かし地方創生を加速させる大きなチャンスと捉え行動する必要がある。

2月の月例経済報告は、「景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。」とし、先行きについても「感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあつて、景気が持ち直していくことが期待される。」としながらも、「感染拡大による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する

一方、鶴岡市の令和3年12月末の本市人口は122,203人、前年末に比較し

当会議所では、昨年度に見直しを行った中期行動計画及び第2期経営発達支援計画に基づき、基本方針に掲げる鶴岡・庄内の「資源」、「可能性」、「総合力」に基づく産業の振興・地域の活性化に取り組んでいる。

加えて、令和4年度においては、コロナ対策と地域経済の

見通せないこともあり、国、県、市の経済対策の動向と感染状況を注視しつつ、補助事業及び令和3年度からの繰越財源を活用して、柔軟かつ積極的に事業の追加・拡充を講じることも想定しているところである。

出口は未だ見通せない状況にある。今後は、感染防止と

令和4年度においては、こうした視野のもと、会員事業所

がコロナ禍の影響を克服し、事業再構築、継承・再生、生産性向上を図れるよう、事業者者に寄り添いながら引き続き支援に全力を上げる。

長期化しているコロナ禍は、より感染力の強いウイルスの発生を繰り返しており、その

必要がある。」との判断を示している。

当会議所の景況調査では、令和3年4月から6月期は、業況、売上げ、採算及び資金繰りとも改善傾向にあったが、7月から9月期は、デルタ株の蔓延拡大により急激な悪化となった。その後、10月から12月期はワクチン接種の一巡等により感染が落ち着いてきたことから回復基調に転じたが、年明けには新たなオミクロン株の感染拡大により再び厳しい業況が広がっている。こうしたウイルス感染の影響を如実に受けた景況の波が繰り返されていることから、地域経済に与えるダメージは深刻の度を増しており、会員事業所からは、事業の継続及び従業員の雇用の維持に向けて、国・県・市における広く目配せした

このたびのコロナ禍は、地域・社会の在り方や価値観に大きな変化をもたらしつつあり、先端科学、食文化・農林水産物、多くの観光資源等、地域に内在する資源を活かし地方創生を加速させる大きなチャンスと捉え行動する必要がある。

令和4年度 鶴岡商工会議所 事業計画

※★は「アフターウィズコロナ競争力強化戦略事業」

① 基本戦略の推進

(1) 先端性・伝統に基づく競争力のある企業の育成

- ①新技術の導入、付加価値の高い製品開発に資する研修会
- ②省力化、生産効率の向上に資する研修会
- ③ものづくり企業交流会
- ④食のブランド化及び加工食品等の開発・販路開拓に係るセミナー

★⑤高等教育研究機関及び研究成果に基づく企業との情報交換会(鶴岡サイエンスパーク連携プロジェクト)

★⑥鶴岡コトづくりプラットフォームの運営

(2) 魅力ある商店の育成と中心商店街の賑わいづくり

- ①鶴岡TMO事業
 - 魅力向上セミナー及びディスプレイコンテストの開催
 - 空き店舗活用に向けてのチャレンジショップの推進
 - 商店街活動の支援

★②元気・安全な店づくりの推進(「がんばろう!元気・鶴岡」プロジェクト)

③第二期中心市街地活性化基本計画に基づく事業の推進

(3) 「自然」「歴史」「文化」をテーマとした観光の推進

①酒井家入部400年と連携した城下町観光の推進

★②まちなか情報の充実(SNS活用、鶴南地域活性化ゼミとの連携)

- 城下町ウォーキング
- 庄内藩をテーマとした土産品の開発
- 花見ぼんぼりの設置及び桜まつりの支援

②日本遺産・食文化を活用した観光の推進
○「出羽三山詣で・食と銘酒で語らう旅」プロジェクトの推進
○鶴岡ツーリズムビューロー等との連携による旅行商品の企画

③鶴岡まつり振興会議との連携による天神祭・庄内大祭の拡充

(4) 若者の地元就職の促進と意欲ある事業所の取組みを支える人材の育成

①高校生、鶴岡高専生・山形大学農学部生等への地元企業に関する情報提供
○高校2年生向け企業紹介ガイドブックの製作・活用
○鶴岡高専保護者及び山形大学農学部生への企業説明会
○採用実態調査

②企業の人材確保、能力向上の支援
○人事担当者のスキルアップ研修会の開催
○新入社員教育セミナー及びフォローアップセミナーの開催
○各種技能検定試験及び講習会の開催

③女性・シニア層活躍セミナーの開催
④テレワーク等新しい仕事の在り方に係る研修会の開催

(5) 産業振興・地域活性化に向けた社会基盤の整備

①高速交通網の早期整備に向けたシンポジウムの開催
②庄内空港の機能拡充に向けた研修会等の開催
③社会基盤整備に向けた活動への参加

★④中心市街地活性化構想研究会(仮称)運営推進(まちなか居住、高度利用及び景観形成、エリア活性化の方策研究)

⑤公共事業の確保に資する研修会の開催

★⑥建築DX研究会運営推進

(6) 経営発達支援計画に基づく伴走型支援の充実

①経済動向、需要開拓等に関する調査及び情報提供
○経済動向、需要開拓等に関する調査及び情報提供
○コロナウイルス感染症による影響調査及び経済施策の情報提供



事業所顕彰



職業観成セミナー
(高校2年生就職ガイダンス)



新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の適用を踏まえた事業者支援、地域経済対策の一層の拡充に関する緊急要望

- まん延防止等重点措置による飲食、宿泊事業者支援だけでなく広く影響を受ける関連事業者への支援拡充
 - 卸、小売など、飲食、宿泊への納入等関連事業者
 - ハイヤー、代行車、バス等の運輸・交通事業者 など
- 宿泊施設の固定資産税相当額の支援補助（共同給湯施設会社への補助を含む）や広告宣伝費等支援
- 消費拡大・活性化に向けた電子決済やクーポン券による再度の消費喚起策
- 返済期限の迫っている各種コロナ融資の返済猶予等要件緩和策及び事業者に寄り添った返済支援
- 雇用調整助成金の更なる措置期間の延長
- アフターコロナも見据えた中期的視点での地域経済活性化
 - 市街地の小売店、宿泊・観光事業者への支援策となる中心市街地活性化 など
- コロナ回復までの間の時限的に可能な市税や市公共料金などの事業者・市民負担の一律軽減
- 休校措置による学校給食など食料品等の公共発注のキャンセル時の損失救済
- 歓送迎会等のイベント・会合における食事持帰り運動等の普及PR
- 資材価格の高騰や流通障害に対する対策
 - 公共工事における資材価格を適切に設計価格に反映するとともに工期の柔軟な設定 など
- ワクチンの職域優先接種や職域接種実施への支援
- 従業員の検査のための事業者における抗体検査キット等調達・確保に関する支援

鶴岡市への緊急要望

鶴岡市がまん延防止等重点措置（1月27日（2月20日）の対象となったことを踏まえ、各都道府県からの意見・要望を集約した、「緊急要望書」を鶴岡市長へ提出しました。要望書提出後、皆川市長と正副会頭との意見交換においては、主に事業者の現状、また、地域経済対策・事業者支援の拡充について意見を交わしました。要望事項は左の通り。



常議員
 鶴岡銀座商店街(振) 常務理事
鈴木 裕士 氏

監事
 株式会社銀行鶴岡中央 支店長
菅井 崇広 氏

新役員

次郎氏(ウイズ環境株)が表彰された。

幹治氏(松ヶ岡ガラス工業株)、在任20年
 三村 一郎氏(東北冷蔵製氷株)、五十嵐
 幹治氏(松ヶ岡ガラス工業株)、在任20年
 以上の佐藤友和氏(株佐藤工務)、齋藤
 秀紀氏(株ベスト)、尾形昌彦氏(株尾形
 サービス商会)、吉野隆一氏(有木村
 屋)、紺野英徳氏(紺野修税理士事務
 所)、五十嵐隆一氏(株荘内メインテナ
 ンス)、板垣昌之氏(株イタガキ)、恩田
 次郎氏(ウイズ環境株)が表彰された。

3月通常議員総会

通常議員総会が3月29日、東京第一ホテル鶴岡で開かれ、令和3年度の補正予算、令和4年度の事業計画と収支予算など10議案を原案通り可決した。役員の選任では、常議員に鈴木裕士鶴岡銀座商店街(振)常務理事を、監事には4月より菅井崇広(株)さらやか銀行鶴岡中央支店長を選任した。ゲストスピーチでは、八木実鶴岡市病院事業管理者が「今後の南庄内での二次医療圏と地域医療体制について」と題して講演を行った。

総会の席上、日本商工会議所の永年勤続役員表彰が行われ、在任30年以上の三村 一郎氏(東北冷蔵製氷株)、五十嵐幹治氏(松ヶ岡ガラス工業株)、在任20年以上の佐藤友和氏(株佐藤工務)、齋藤秀紀氏(株ベスト)、尾形昌彦氏(株尾形サービス商会)、吉野隆一氏(有木村屋)、紺野英徳氏(紺野修税理士事務所)、五十嵐隆一氏(株荘内メインテナンス)、板垣昌之氏(株イタガキ)、恩田次郎氏(ウイズ環境株)が表彰された。

令和4年度 鶴岡商工会議所 **職員紹介**

専務理事 高橋 健彦	事務局長 七森 玲子	課長 七森 玲子	課長 丸山 奈美	事業係 主任 中村 映子
課長補佐 三浦 千博	企画係 係長 渡邊 匠 新	課長補佐 三浦 千博	経営支援係 係長 森村 雄一郎	事業係 主事 齋藤 豪介
総務係 主任 進藤 孝子	企画係 主事 補助員 後藤 富実	総務係 主任 進藤 孝子	経営支援係 主任 相田 涼	事業係 主事 安達 亜未
総務係 主事 菅原 秋穂	(公財)庄内地域産業振興センター 出向 嘱託職員 佐藤 玲子 新	総務係 主事 菅原 秋穂	経営支援係 主任 齊藤 智哉	経営支援係 主事 佐藤 大 新
総務係 嘱託職員 森村 とも子		総務係 嘱託職員 森村 とも子	経営支援係 主事 佐藤 成浩	

令和4年度 鶴岡商工会議所 **総括収支予算** (単位:千円)

収入		支出	
会費	44,946	人件費	79,879
事業収入	88,831	管理費	11,904
補助金	56,283	事務費	10,111
その他	2,614	事業費	56,845
繰越金	4,097	その他	12,225
計	196,771	借入金返済	23,787
基金繰越金	105,628	予備費	2,000
特退金	175,000	計	196,751
合計	477,399	基金積立金	105,648
		特退金	175,000
		合計	477,399

定例常議員会報告

- 報告事項**
- 12月～1月の各種会議報告
 - 地元選出県議会議員との意見交換会開催報告
 - 工業部会施設見学会開催報告
 - 鶴岡市建設優秀賞表彰式開催報告
 - 新年祝賀会・講演会・交流会開催報告
 - 管内の10月～12月期景況調査集計結果について
 - 議員の職務を行う者の変更について
- 協議事項**
- 新会員の承認について
 - 中期行動計画の推進に係る雇人材育成委員会の委員について
 - 事業継続力強化支援計画について
- ゲストスピーチ**
- テーマ:食・食文化を通じたSDGsの取組みと「つるおかSDGs推進パートナー」登録について
- 講師:鶴岡市企画部食文化創造都市推進課 専門員 茂木 政信 氏

- 報告事項**
- 1月～3月の各種会議報告
 - 鶴岡市に対する緊急要望書提出報告
 - つるおか元気プロジェクト食べて応援キャンペーンについて
 - 当所観光部会・酒田商工会議所おもてなし部会正副部長懇談会開催報告
 - 議員の職務を行う者の変更について
 - 役員・議員表彰について
 - 「ビジネスマッチ東北2022春」報告
 - 第6回新型コロナウイルス感染症の影響に関する調査結果
- 協議事項**
- 新会員の承認について
 - 会費及び負担金に関する規約第4条に基づく会費の減免について
 - 3月通常議員総会に付議する事項
 - 令和3年度各会計収支補正予算案について
 - 令和4年度事業計画(案)について
 - 令和4年度各会計収支予算(案)について
 - 令和4年度借入金の最高限度額(案)について
 - 役員の選任について
- その他**
- 鶴岡市の平成4年度当初予算概要について

- ★○AI、デジタル化、キャッシュレス、SDGsなど今後の経営戦略に資するセミナーの開催
 - 移動商工会議所の開催
- ②新規創業、持続的経営、事業承継の推進
 - 経営分析・経事業計画策定に資するセミナーの開催
 - 創業、事業発展、事業承継に資するセミナーの開催
- ★○事業計画策定後のフォローアップ(鶴岡ビジネス応援隊・専門家派遣)
- ★○事業者BCP策定に関するセミナーの開催
- ③補助金・融資制度の活用支援
 - やまがたチャレンジ創業助成金の活用支援
 - 経営改善資金等各種融資制度の活用支援
 - 持続化補助金、コロナ関連施策等の活用支援
 - 消費税関連施策の活用支援
- ④経営指導員等による指導・相談の充実
 - 経営指導員による巡回・窓口相談
- ★○専門相談員、鶴岡ビジネス応援隊等による個別指導(アフターウィズコロナ時代の経営戦略セミナーの開催)
 - 経営安定特別相談
 - 記帳及び決算の指導
 - BIZミルシステムの運用
 - 経営指導員等の研修
 - 中小企業等経営改善支援

② 重点事業の推進

- (1)地域内での消費・取引の拡大、他地域への販路開拓に向けた取組みの強化
- ★①販路開拓セミナーの開催(デジタルマーケティング勉強会)
 - ②ビジネスマッチ東北への出展支援
 - ③うまいもんマルシェへの出展支援
 - ④会議所ホームページ等による会員事業所の取引・販路拡大に向けた情報提供
 - ★⑤会員事業所ネット紹介サイト構築研究

- (2)観光誘客に向けた取組みの強化
- ①観光誘客に資するセミナーの開催
 - ②市民・県民の地域内旅行に向けた情報の提供
 - ★③鶴岡ツーリズムビューローと連携した首都圏等における観光誘客(スマホスタンプラリーin城下町鶴岡)

③ 会議所機能の強化

- (1)会議所の地域プロデュース機能・コーディネート機能の発揮
- ①部会、青年部及び女性会活動の活性化
 - ②地域活性化に係るキーパーソンとの交流
 - ★③次世代の産業・経済リーダーの育成に資する研修会の開催(イノベーション、デジタル田園都市構想スマートシティ構想といったテーマでの勉強会)
 - ④政策提言・要望活動の拡充
 - 鶴岡市との意見交換及び要望・提言活動
 - 山形県商工会議所連合会との連携による国・山形県への要望活動
 - 地元選出の国会議員及び県議会議員との連携強化

- (2)会員事業所及び市民へのお役立ち度の向上
- ①会議所報、ホームページ及びLINEによる情報の提供
 - ②会員事業所従業者の表彰及び会員事業所の顕彰
 - ③会員のつどい及び新年祝賀会の開催、会員レクリエーション事業等の実施
 - ★④会員共済制度の加入促進(サリバテック検査補助、「ちか旅」クーポンの実施)
 - ★⑤鶴岡・庄内を知る旅講座(マイクロツーリズム型)の開催

- (3)組織・財務基盤の強化
- ①会員増強活動の拡充
 - ②会員共済制度の加入促進(再掲)
 - ③OJT、研修会参加、資格取得の奨励等による職員の資質向上
 - ④日本商工会議所等の補助金の積極導入